

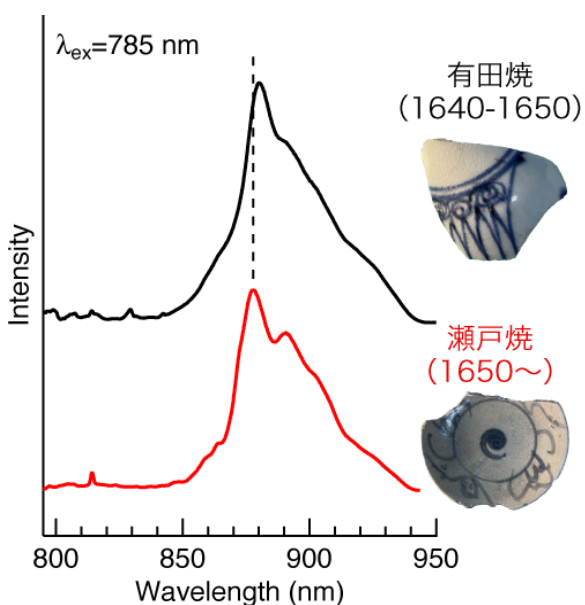
論文タイトル：Near-Infrared Luminescence from Porcelain Glazes Originates from Neodymium Ion

著者（責任者に\*）：Yoshimitsu Onaka, Hideyuki Matsuo, Akihiro Aoyama, Keisuke Ohto, Yasunori Yamada, Tomotsumi Fujisawa, and Masashi Unno\*

論文情報：The Journal of Physical Chemistry C 130, 1357-1362 (2026)

論文要旨：海野 雅司 教授、大渡 啓介 教授、山田 泰教 教授、藤澤 知績 准教授らは佐賀県窯業技術センターとの共同研究から陶磁器の表面を覆う釉薬が示す近赤外領域の発光について、そのメカニズムを解明しました。この近赤外発光は佐賀県有田地区と愛知県瀬戸地区から発掘された陶磁器片では違いが見られました。今後、1600 年ごろに肥前地区で発掘された古陶磁器などにこの手法を応用することで、有田焼発祥の解明などが期待できます。

Illustrated image：



論文 link：<https://pubs.acs.org/doi/10.1021/acs.jpcc.5c07259>